

令和元年度富谷市立日吉台小学校 学校関係者評価書

令和 2 年 2 月 2 5 日
学校関係者評価委員会

1 総評

(1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

○「支持的風土を持った学級集団を作り、協同的な学びを推進する」

- ・平成 29 年度から取り組み 3 年が経ち、子どもたちが生き生きと互いを思いやり励まし合っ
て一緒に学ぶ姿に感心した。失敗しても許し、頑張っている姿を認めてあげる雰囲気
が授業参観から伝わってきた。クラスごとに机の配置を工夫し、声を掛け合う姿に、
子どもたちに互いを認め合う姿勢が浸透してきたと感じた。全職員が同じ目的で互
いに授業を参観し合う先生方の意識の高さを身近に感じた。
- ・各学年学級でカラーは違い、教職員の考え方にも多少の温度差があると思うが、分
かりやすく工夫を凝らした授業を心掛け努力していることは同じだと授業参観を
見て感じた。子どもたちの良いところを引き出してアドバイスしてあげることで自
信を持ち目標に向かって努力していくのだと思う。今後の指導内容に期待する。
- ・「しっかり学び、心と体を大切にすることの育成」を教育目標に掲げ「学び合いの授
業」づくりを学校全体で継続して取り組んでおり、校内授業研究としても計画的に推
進されている。とくに達成感が実感できる授業づくりにおいては、学級単位だけで
なく、少人数クラスでの指導の充実が見受けられ、主役である子どもたち一人一人
が主体的に学べるような配慮がなされていた。

(2) 成果について

- ・「しっかり学ぶ」「心を大切にすること」「体を大切にすること」3つの観点
は、学び合いのある充実した授業プランで成果があったと思う。子どもたちの笑
顔と元気な挨拶で学級づくりがうまくいき、仲の良さが目に付いたことか
らいじめはないと感じた。体力向上は、校庭で運動を楽しんだり継続的に縄
跳びを実施したりしており、充実した体育が行われていたと思う。学校行事
や授業参観に参加すると子どもたちに元気の良さや明るさがあり、一生懸命
頑張っている様子が伝わってきてすばらしいと思う。
- ・学校全体で目標に取り組んでおり、子どもたちの思考力を育てるように教育
していることを感じる。人の話を聞く、自分の意見を話せることは互いを尊
敬することにつながり、「学び合い」が人間関係づくりに大きく貢献している
と感じる。クラス単位だけのつながりでなく、たてわり活動による学年を超
えたつながりも大切な「学び合い」の場だと思う。
- ・「支持的風土を持った学級集団」での「共同的な学び合い」では、互いを
尊重し認め合う姿、そして失敗しても温かく受け入れる姿が見られると聞
いている。学力向上だけでなく心を育む教育として思いやりのある児童が
育っており、学習面以上の成果を感じる。いじめの問題などがクローズア
ップされる現代において、相手を受け入れ自分を大切にすることの取
組みは、いじめの未然防止になっているのではないかと思う。

(3) 課題や改善を要する事項について

- ・保護者アンケートの中で「登下校時や学校生活での安全に関する指導について」あまりできていないという回答が21%あったが、校長先生・教職員・地域の方々が街頭指導を行っており、保護者の皆様に理解いただけるよう発信が必要。いじめ問題も25%あり、親子のコミュニケーションの大切さを促すべきと思う。学校と保護者の連携がますます大切と思うので改善策を共有できる発信をお願いしたい。
- ・アンケート調査の結果が学校と保護者で考え方にずれがあったことは、誤解のないように保護者へきちんと説明が必要。「いじめ」に関する点は特に重要。対応策を伝え、「命」の大切さについて事例をあげて話し合いや指導をしていく時間を設けたり親子で話を聞いたりすることも例になると思う。
- ・学校評価保護者アンケートの中で、「基礎的・基本的な学習内容の定着を図るための指導方法の工夫や子ども一人一人に応じた指導」について低い評価があったが、協同的な学び合いの授業の工夫や、少人数指導及び教科担任制による授業の充実など、基礎学力向上や個々の学力に応じた指導がしっかり行われている。授業参観でも、毎回、児童の積極的かつ主体的に取り組む姿や、先生方の様々な授業での工夫が見られる。このような素晴らしい取り組みが保護者に伝わるような周知の仕方を考えてもらえればと思う。いじめの対応について毎月いじめアンケートを実施し積極的に対応されているが、こちらも学校評価アンケートでは低かった。子どもはもちろん、保護者の安心感も増すように、学校側の取り組みを積極的にアピールしていただけるよう期待する。

2 各領域等の評価

- 評価は、A：十分に達成している B：概ね達成している C：どちらかといえば達成していない D：ほとんど達成していない の4段階でお付けください。

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりは町内会でも回覧され、保護者だけでなく地域への情報発信も積極的に行われている。学校だより等で保護者へ家庭教育について啓蒙する働き掛けをしてほしい。 ・おたよりなどから情報の収集ができる。学校の教育活動への取り組みが記載されているので理解しやすい。 ・学校だよりの町内会回覧や行事参加への地域住民に対する呼び掛けが継続して行われている。スクールボランティアも積極的に受け入れ、地域の大切な資源としても活用されている。
	2 魅力ある学校	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員全員で、思いやりや命の大切さを自然に受け入れられる素直な子どもを育てる意識の高さもあり、取り組む姿勢がすばらしい。学校行事等で足を運ぶたびに、生き生きとした子どもの姿が見られ学校の楽しさや魅力があるのだと感じられた。 ・子どもたちが興味を持ち夢中になれるものがあ

			<p>ること、そしてそれらの能力を引き出してやる ことが大切。保護者アンケートの評価も教育計 画の中に反映されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちがワクワクするような授業への取 組みや学校行事がたくさんあり、いつ来校して も元気いっぱい、楽しそうに取り組む姿が見ら れる。運動会や学芸会も子どもたちの自主性や 意見を積極的に取り入れていると聞き、楽しく なる仕掛けがたくさんあると感じている。
	3 施設・設備	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教室もきちんと整理されている。駐車場はいつ もきれいで使いやすい。昇降口がいつも整頓さ れ、気持ちよく校舎に入ることができる。 ・エアコンが設置され、暑さ対策に対応できるよ うになり、学びやすい環境になってよかった。 ・県内でいち早く冷房機器を導入いただき、心よ り感謝する。今年度の猛暑を考えると、大切な 環境整備といえ、これからも施設や設備の改善 を積極的にお願したい。
	4 安全管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路は交通量も多く通学時間も長いことから 安全確保のために地域ぐるみで見守っている が、保護者からはより安全な方法を求められて いるので、実情を踏まえて対策を講じていき たい。 ・登下校に関しては地域の皆さんが声掛けをして 見守ってくれている。校内における個人的なけ がは自己責任もあると思う。個人の注意力を高 めていくことで改善できるのでは。 ・避難訓練や引き渡し訓練など、地域と共に取り 組んでいる。震災の経験は時が経つにつれ薄れ ていくが、防災教育も含めて引き続きお願し たい。校長先生始め諸先生方が毎朝通学路に立 たれ、子どもたちの見守りや安全指導を行っ ており、安心している。
	5 教職員の資質の向上	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの投げ掛け、質問を導き出せるよう 積極的に話し掛けていて大変よい。研修等に積 極的に参加して指導力アップに努めてほしい。 ・外部研修へ参加することで自己能力のアップを 図り、現場で結果を出せるよう校内での研究授 業でも心掛けてほしい。 ・校内授業研究や教職員間の授業参観にも取り組 んでおり、重点目標の「学び合い」を先生方も 行っていると聞いて頭が下がる思い。

	6 特色ある教育活動等	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部事業で地域サポーターによる活動が積極的に行われ、新たな発見につながるメリットも生まれている。創意工夫し今後も活動を続けてほしい。 ・地域と連携してよく行われている。子どもたちは地域の中で素直に育っていると思う。 ・地域のスクールボランティアや資源を活用し、川柳教室や読み聞かせ、昔遊び、米づくり学習等、多岐にわたる活動が展開されており、子どもたちも大変楽しみにしている。また地域の一員としてのつながりを子どもたちも実感できる場面になってほしいと思う。
教育課程	1 確かな学力	B	<ul style="list-style-type: none"> ・個別対応技術が難しかったようだが、指導方法など改善しながら努力を続けてほしい。家庭学習の習慣化を図るため、しおりの有効活動をどう働き掛けるかが課題である。 ・個人差はあるが、少人数で学ぶことで理解できることもある。指導法の工夫を凝らして「分かる」「解ける」の達成感を体験させてほしい。 ・学び合いの授業の中で、子どもたちは学ぶ楽しさや分かる喜びを実感し、主体的に学習する素地や「やればできる」といった自己有用感などが身に付いていると思う。家庭学習の習慣化のために、しおりの有効活用を図ってほしい。
	2 豊かな心身	A	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりと優しさを持ち、支え合うことの大切さを持った子どもになれるよう心の教育も充実している。道徳教育は家庭、地域と連携して指導にあたり、集団生活の中で学んでほしい。 ・思いやりと優しさを持ち、気配りのできる子どもへと成長させてほしい。話し合いの場は心の成長に欠かせないものがあり、自主的に行動できるようルールを引いてあげてほしい。 ・学級における支持的風土の育成は、相手を思いやり互いを大切に思う心が育っていると思う。学習面だけでなく、いじめ根絶のためにも将来を見据えた全人教育を引き続きお願いしたい。
	3 特別活動	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や児童会活動等、子どもたちの自主性を重んじていてよいと思う。学芸会や運動会でそれぞれの学年の子どもたちの生き生きした表情や態度に成長を感じた。 ・子どもたちが自主的に活動できるよう配慮や工夫がされており、主体的に活動している姿が見られた。 ・児童会活動やひまわりフェスティバルなど子ども

課題教育			<p>もたちが自主的に楽しみながら運営している姿が見られた。冬場の長縄大会は、各学年を通じて大変盛り上がったようで、練習を楽しみに登校する姿も見受けられた。今後も学校が楽しくなる活動を期待する。</p>
	4 生徒指導・教育相談	A	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題に対して聞き取りを実施し、保護者への報告等にも取り組んでおり、深刻な事例もないので学校側の対応はすばらしい。インターネットやスマホの有害情報への知識を保護者も養うよう促してほしい。 ・気付いたらその都度対応しているようなので、今後も状況を常に把握しながら子どもたちの行動に目を配ってほしい。 ・不登校やいじめの問題に学校挙げて取り組まれている。今後も組織として対応してほしい。中学校との情報交換や引継ぎもしっかりなされていて安心している。
	5 特色ある教育活動等	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの活動が活発で、教育活動へ保護者の理解が深まっている。地域との連携や世代間交流も深まり良い関係ができている。 ・地域の方も学校行事に参加しやすく、地域との関わりを感じる。思いやる心を育てる活動でもあるので、継続してほしい。 ・スクールボランティア感謝の会や地域行事への参加を通して、地域交流を積極的に図っていると思う。世代間交流を今後も継続してほしい。学校や子どもたちが地域に対してできることも考えてほしい。
	1 環境教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全校清掃の実施、整理整頓が行き届いており、気持ちよく学校生活を送っている。教室内、廊下がきれいに清掃されている。 ・リサイクル活動や省エネの重要性について話し合い確認し合うことで何をすべきか分かるので、積極的な活動へと発展させてほしい。 ・教室や学習環境などは気持ちよく整備されているが、校舎や遊具の老朽化が見られる。富谷市としても環境整備に力を入れてほしい。
	2 特別支援教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害や難聴児への対応が的確にされており保護者と連携をとって成長してほしい。児童に合った個別指導は保護者と共通理解し計画を立てて進めてほしい。 ・行き届いた指導の中で前向きに授業に取り組んでいる。 ・特別支援学級では個々の特性に応じた取り組み

			<p>が積極的になされている。普通学級の中で、特別な支援を要する児童に対しての積極的な取り組みを期待するとともに、必要な少人数指導担当の教員や特別支援教育支援員などの配置をお願いしたい。</p>
	3 図書館教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間への取り組みが功を奏し、本を読む子どもたちが増えたように感じた。活字離れが進む中、少しでも本を読む習慣を定着するよう保護者にも啓発してほしい。 ・活字に慣れ親しむことは、重要だと思う。読書好きな子どもたちが増えるよう、今後も力を入れてほしい。 ・授業での積極的な図書室活用で、読書に親しむ子どもたちが多く、読書習慣が定着している。図書室もよく整備されており、素晴らしい環境だと思う。
	4 健康教育	B	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での食生活が大切で、朝ごはんをきちんと食べさせる等の家庭教育も必要である。親は子どもと会話をしながら食事をし、親子で食への感謝をすることも大切。 ・健康づくりに関しては家庭での指導も必要。当たり前のことがきちんとできるように、保護者も声掛けしてほしい。 ・学校では積極的に「ルルブル」や家庭での生活習慣の大切さを訴えているが、保護者の評価度が低く残念。学級活動や学校だよりの他、親子への働き掛けやPTAとも連携を図りながら啓蒙活動を進めてほしい。
	5 特色ある教育活動等	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学び合い活動を通し、学級集団作りを実践していてすばらしい。子ども同士の結び付きが強く自主的に活動している姿もすばらしい。 ・中学校との関わりも積極的に行われており、連携も深まることで職員の資質向上に結び付いている。 ・日吉台小学校として継続的に取り組んでいる重点目標「支持的風土を持った集団作り」や「協同的な学びの推進」は大変素晴らしい特色ある教育活動だと思う。その実現のため、日々努力なされている先生方に大変感謝したい。

<p>地域との連携について</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した活動を継続して進めることで、子どもたちが地域の一員としての自覚を持ち、共同意識が養われると思う。地域が学校のためにできることを提案して、学校と協同で進めて密にしてほしい。 ・昔遊びなどボランティアの方々と触れ合うことで、地域との関係を実感し子どもたちが成長できる大切な時間である。 ・地域からのボランティアを積極的に受け入れている。学校で活動することが生きがいとなっている方もたくさんいるので、これからも地域の教育力を積極的に活用してほしい。
<p>いじめ問題への取り組み</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なアンケート調査により、いじめなど友人関係の悩みにきちんと対応している。家庭での子どもの変化に気付くことを保護者にお願いして、情報交換を密にする体制作りも必要。 ・重要項目であり、誤解が生じないよう保護者への説明をきちんと行い、次年度へつなげてほしい。 ・月1回のいじめアンケートを実施するなど積極的に取り組まれている。学校重点目標の指導を通じて、お互いを認め、異質な意見を受け入れて、自分の思っていることを話せる環境作りが進んでいると思う。年度で途切れることなく今後も継続してほしい。